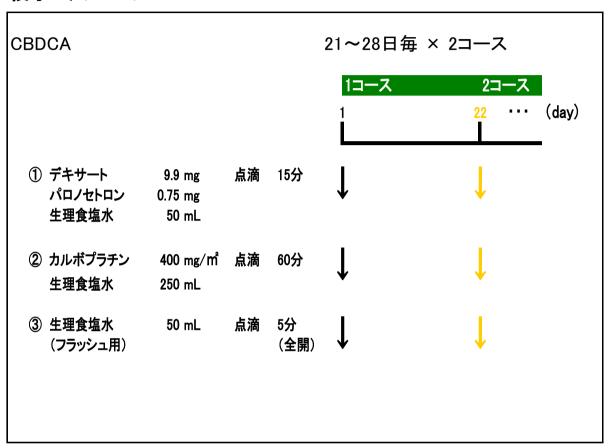
登録日	2016/9/15	登録番号	Tes003

腫瘍名 精巣腫瘍

申請診療科泌尿器科

投与スケジュール



注意事項

- ・対象は精巣腫瘍(セミノーマ)のStage I 術後化学療法
- ・2コースを目安に使用する。
- ・投与間隔は21日毎が目安(臨床試験では60%の患者で21日毎の投与間隔であった)
- •通常は、CBDCA量(mg) = AUC X (GFR + 25)でカルボプラチン量が算出されるが、 本治療では体表面積を用いて算出する。
- ・腫瘍マーカーはAFP、bHCG、LDHを測定する。
- ・採血は1週間ごとに測定し、評価することが望ましい。

参考文献

- 1) 日本泌尿器科学会、精巣腫瘍ガイドライン2015年版.
- 2) R. Timothy D. Oliver, *et al*, Randomized traial of carboplatin versus radiotherapy for stgae I seminoma: mature results on relapse and contralateral testis cancer rates in MRC TE19/EORTC 30982 study (ISRCTN27163214), *J Clin Oncol*, 29, 957–962 (2011).
- 3) Graham M, et al, Randomized traial in 2466 patients with stage I seminoma: patterns of relapse and follow-up, J Natl Cancer Inst, 103, 241-249 (2011).